令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	酒田港でのリサイクル物流の活性化（酒田港の新たなる飛躍に向けたリサイクル物流の取組み）		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形県酒田市宮海字南浜１－５０	事業費	1,337,752 円
		うち助成金額	950,000 円
事業実施期間	令和７年５月２８日～令和８年３月３１日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

当NPO法人は、国土交通省、山形県、酒田市など関係機関と連携し、酒田港の活性化とリサイクルポート機能の向上を目的に活動しています。本事業では、酒田港の役割やリサイクルの重要性を広く発信するとともに、県民や企業による港湾利用の促進を図り、酒田港の機能強化を通じて地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に貢献することを目的としています。

（実施内容）

当NPO法人は、主に酒田港がリサイクルポート指定を受けた優位性を活かしながら、山形県内の経済発展のため、山形県内から発生するリサイクル品の広域販売・処理促進（ビジネスマッチング）に向けた事業を行っております。私たちは県内外の様々な分野のリサイクル関連事業者と共同して、リサイクル品がうまくビジネスとして展開される事業活動により、長期的に継続可能な循環型社会の構築を目指すことを目的としました。

① 山形県内外への酒田港利用PR。（物流拡大）
② 山形県内における循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握。（情報収集）
③ 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援。（販路拡大）



【写真①の様子】



【写真②の様子】

事業の成果

１．山形県内外への酒田港利用PR（物流拡大）

（１）今年度は酒田港見学ツアーガイドサービス事業を行いました。加えて、「第12回酒田港国際資源循環フォーラム」を開催しました

ａ．酒田港見学ツアーガイドの実績　令和７年度実績　実施件数　84団体1,524名

ｂ.酒田港国際資源循環フォーラムの実施

参加人数：　54名（内オンライン参加者　8名）

２．山形県内における新たな循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握（情報収集）

① リサイクルポート推進協議会主催の港湾見学会への参加(石狩新港、苫小牧港)

② リサイクルポート推進協議会広報部会参加(令和7年度4回、内1回はオンラインにて参加)

③ リサイクルポート推進協議会主催リサイクルポートセミナーへの事務局参加

④ リサイクルポート四港勉強会への事務局参加

３．山形県内外におけるリサイクル品の営業支援（販路拡大）

酒田共同火力発電株式会社および東北電力株式会社能代火力発電所で発生する石炭灰（フライアッシュ、クリンカアッシュ）のリサイクル活用について、行政および民間企業への販路拡大支援を実施しました。

（１） フライアッシュを再生砕石としての活用

・フライアッシュをセメント等と混合し、土木資材として再生した製品を、製造企業と合同で販路拡大およびリサイクル量の増加を図りました。

（２） クリンカアッシュを砂代替品として活用

・酒田共同火力発電株式会社および東北電力株式会社能代火力発電所で発生するクリンカアッシュについて、主に砂代替品として、道路用路床材および土地造成盛土材として、行政および民間企業への販路拡大を実施しました。

特に、能代火力発電所のクリンカアッシュについては、船舶で能代港積込し、酒田港揚げの荷役計画から出荷まで担当しており、酒田港でのリサイクル物流の活性化に貢献しております。

４，酒田北港緑地展望台指定管理。

今後の展望

酒田港の利用促進とリサイクル関連産業の振興は、企業活動の活性化や雇用創出を通じて、山形県内経済の発展に寄与します。また、循環型社会の形成や地域企業の競争力向上にもつながる重要な取組です。今後は、企業間のビジネスマッチングや情報共有を促進し、酒田港を核とした持続可能な産業基盤の構築と地域経済の活性化を目指します。

【写真③の様子】



団体概要

団体名　NPO法人山形県リサイクルポート情報センター

代表者　理事長　佐藤　清

URL　NPO法人山形県リサイクルポート情報センター（shonai-recycle.jp）

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	酒田港でのリサイクル物流の活性化（酒田港の新たなる飛躍に向けたリサイクル物流の取組み）
団体名	NPO法人山形県リサイクルポート情報センター

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	950,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	387,752	NPO法人会費
合計	1,337,752	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金		
旅費	347,478	社有車ガソリン代、ANA航空券、空港駐車料金、出張宿泊費、移動高速代、出張手当等
印刷製本費		
消耗品･材料購入費	106,644	事務所備品、コピー用紙、名刺・NPO封筒印刷代、複合機トナー代
通信運搬費	1,030	請求書・資料郵送費
保険料		
使用料	577,100	複合機・パソコンリース代、社有車リース代
人件費	300,000	NPO職員2名分
（委託費）	5,500	HP管理・セキュリティ費
（備品購入費）		
（修繕費）		
合計	1,337,752	